

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年 6月 30日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県日田市大字高瀬3898番地

氏 名 有限会社 本川牧場  
代表取締役 本川 角 重

電話番号 0973-22-6509

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 本川牧場
事業場の所在地	大分県日田市大字高瀬3898番地
計画期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	乳用牛 2,351頭、 肉用牛 621頭
③ 従業員数	82名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・動物のふん尿 : 自ら堆肥化 詳細は、別添資料

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ① 社長（廃棄物統括責任者）  
常務、牧場長（統括）  
部長（管理・監督）

- 廃棄物処理方針の決定
- 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

- ② 有機肥料課責任者（廃棄物実務担当者）

- 廃棄物処理計画の作成
- 行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	60,383.2 t	
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	60,000.0 t	
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 該当なし
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 該当なし

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	46,183.5 t	
	(これまでに実施した取組) ・堆肥化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	46,000.0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	14,199.7 t	
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14,000.0 t	
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全処理委託量	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	
	再生利用業者への処理委託量	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全処理委託量	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	
	再生利用業者への 処理委託量	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物処理計画

(有)本川牧場 有機肥料課

### H27年度 処理実績

	立米数	比重	t数
発生量	75,479.0	0.80	60,383.2

品目	堆肥化期間	立米数	比重	t数
バラ堆肥 B	60～90日	43,429.0	0.70	30,400.3
バラ堆肥 A	70～120日	13,055.0	0.50	6,527.5
袋詰堆肥	120日	15,541.5	0.44	6,838.3
合計		72,025.5		43,766.1
在庫量		3,453.5	0.70	2,417.5
			自ら中間処理したあとの残渣量	46,183.5
			自らの中間処理により減量した量	14,199.7

### H28年度 処理計画

	立米数	比重	t数
発生量	75,000.0	0.80	60,000.0

品目	堆肥化期間	立米数	比重	t数
バラ堆肥 B	60～90日	44,000.0	0.70	30,800.0
バラ堆肥 A	70～120日	13,000.0	0.50	6,500.0
袋詰堆肥	120日	15,000.0	0.44	6,600.0
合計		72,000.0		43,900.0
在庫量		3,000.0	0.70	2,100.0
			自ら中間処理したあとの残渣量	46,000.0
			自らの中間処理により減量した量	14,000.0